

えんがわ会議で出た田野区の課題、長所、理想の将来像

牧水が愛した自然と絆がつながる東郷 ～日向市東郷地域振興計画～

方針2 安心して暮らせる地域集落をつくろう

田野区えんがわ会議結果

第1回 令和5年12月13日(水) [参加者数7人]

第2回 令和6年2月13日(火) [参加者数10人]



令和5年度に『田野区えんがわ会議』を開催し、10年後の“理想の田野区”について参加者のみなさんで考え、今後必要になる取組を出し合いました。

その中で、特に意見の多かった理想の将来像3つと、それらを達成するために必要な取組について関係性をまとめてみました。

地域づくりは、無理をせず、ポジティブに、少しずつでも継続することが成功の秘訣です。『田野区えんがわ会議』で出た全ての課題、長所、理想の将来像については裏面に掲載していますので、今後の地域づくりにおけるヒントとしてご活用ください。

区や班の活動

困っていること

- ・若者が帰ってこない
- ・長寿会会員が減少している
- ・40～50代の住民が少ない
- ・地区が活性化していない
- ・田野神楽がなくなった
- ・女性部の活動があまりできなくなった
- ・区全体のまとまりが薄くなっている
- ・高齢化が進んでいる
- ・役員の負担が大きい
- ・祭りが寂しい
- ・清掃に出る人が少なくなっている

良いところ

- ・高齢者の見守りがある
- ・集金会をしている
- ・道路清掃を行っている
- ・歩こう会がある
- ・夏祭りがある
- ・百歳体操(サロン)の活動がある
- ・グラウンドゴルフ大会に多くの住民が参加する

理想の将来像

- ・区の調和が取れている
- ・地区活動が整理されている

移住・定住・空き家

困っていること

- ・空き家が増えている
- ・高齢者世帯が増えている
- ・家が建てられない土地が多い(崖が多い、農振地に該当している など)
- ・子どもが少ない
- ・少子化が進んでいる

良いところ

- ・管理されている空き家が多い
- ・空き家自体は少ない
- ・空き家予備軍を把握できている
- ・鶴野内区に比べ土地が安価である
- ・立地が良い

理想の将来像

- ・人口が増えている
- ・子どもたちが帰ってきている
- ・Uターンしやすい環境になっている
- ・若い移住者が増えている
- ・空き家に移住者が住んでいる
- ・空き家が管理されている
- ・集団生活できる施設がつけられている
- ・土地が造成され宅地が販売されている

移動手段・交通

困っていること

- ・タクシーがない
- ・バスが少ない
- ・運転免許返納者が増えている
- ・乗り合いバスの利用方法が分からない

良いところ

- ・乗り合いバスの利用者が増えつつある

理想の将来像

- ・乗り合いバスが市内まで延伸している
- ・ライドシェアが行われている
- ・タクシーの補助金制度ができている
- ・車を使わないで買い物できるようになっている



農業・林業

困っていること

- ・草刈りの負担が大きい
- ・田畑の荒地が進んでいる
- ・耕作放棄地が増えた
- ・休耕田が多くなってきている
- ・集落営農ができなくなった
- ・農業の後継者がいない
- ・共同作業ができていない
- ・獣害(鹿、猪)が多い

良いところ

- ・耕作放棄地の草刈りを実施している
- ・協力して農業する体制が残っている
- ・おいしいシシ鍋が食べられる

理想の将来像

- ・移住者が農業をしてくれる
- ・農業法人が立ち上がっている

その他

困っていること

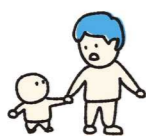
- ・整備が不十分な道路がある
- ・地域内に仕事が少ない

良いところ

- ・コスモスがきれい
- ・イチヨウが植えられている
- ・農地水組織がある
- ・川がきれい

理想の将来像

- ・きれいな川が守られている
- ・地域内に仕事がある





田野区の理想の10年後に向けて



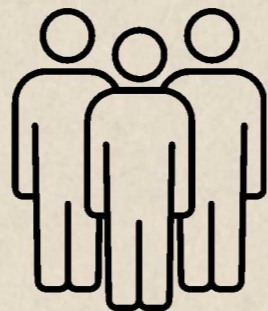
- ◆ 移動に不自由しない地区を目指そう！
- ◆ 活動する人を増やそう！

- ◆ 農業を盛んにしよう！

…そのためには…

活動する人を増やす

- ◆ 子どもにUターンしてもらおう
→ 農業してもらおう
- ◆ 親世代と「半」同居もしくは近居を勧める



ライドシェアの運転手を担ってもらおう
公共交通を積極的に利用する

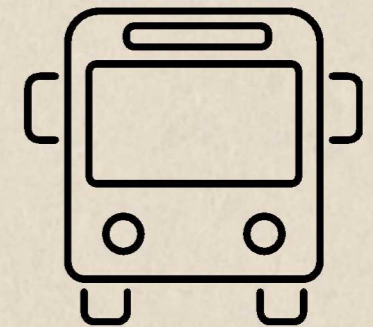
農業を教わる
既存団体を支える



仕事を確保して
移住者獲得につなげる

移動に不自由しない

- ◆ 乗り合いバスで病院、買い物に行く
- ◆ ライドシェアに取り組む
- ◆ 移動販売を呼び込む
- ◆ 免許返納者向けのサービスを提案する



農業を盛んにする

- ◆ 稼げる特産品をつくる
(へベス、玉ねぎ、ブロイラーなど)
- ◆ 既存の農業法人の協力を得る
- ◆ 休耕している田畑を活用する
- ◆ 農地水組織と連携して取り組む



地区活動を整理する

- ◆ 役員負担を軽減する
- ◆ 元のような活動ができることを目指す

